

Microsoft Designer の使い方 (AI で作成編)

ここでは、無料で使える Microsoft Designer の AI 機能を使って、自由に画像を作成、編集する方法を学びましょう。

1 Microsoft Designer の概要

Microsoft Designer (マイクロソフトデザイナー) は、Microsoft が開発した画像・イラストを生成できる AI ツールです。画像生成 AI の「DALL-E」が搭載されています。

最大の特徴は、生成した画像・イラストのデザインを編集できる点です。テキストを追加したり、色合いを変更したりといった機能が用意されています。

Microsoft Designer の主な特徴は次のとおりです。

- ① Microsoft Designer は、PC に何もインストールすることなく、Web ブラウザで Microsoft Designer のページを開くだけで使用できます。
- ② Microsoft Designer を使えば、画像の作成方法についてあまり詳しくなくても、ブラウザ上で自分が作成したいデザインを選択していくだけで、さまざまな画像を生成することが可能です。
- ③ Microsoft Designer は、基本的に Microsoft アカウントを持っていれば誰でも利用できる上に、無料で使用することができます。

2 AI クレジットについて

(1) AI クレジットとは？

AI クレジットは、Microsoft 365 および Windows アプリケーション内での AI 機能の使用を測定するために用意されたもので、テキストの生成、テーブルの作成、イメージの編集など、AI に関連して行う各アクションでこのクレジットが消費されます。

(2) 取得できる AI クレジットの数は？

無料の Microsoft Designer のユーザー(サブスクリイバー以外)は、1 か月あたり 15 クレジットを受け取ります。

(3) Microsoft 365 Personal および Family のサブスクリイバーは、1 か月あたり 60 個の AI クレジットを取得します。これは、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Microsoft Forms、OneNote、Microsoft Designer、メモ帳、Microsoft フォト、Microsoft ペイントなど、さまざまなアプリケーションで使用できます。

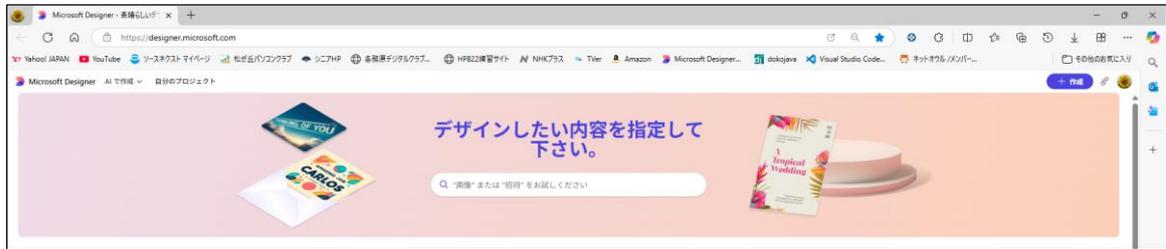
(4) AI クレジットの管理

- ① AI クレジットは、支払いサイクルに関係なく、毎月最初の日にリセットされます。これは、無料プランと有料プランの両方に適用されます。
- ② 使用可能な AI クレジットの数を確認するには、アカウント ページ にアクセスします。

3 Microsoft Designer を開く

- ① <https://designer.microsoft.com/>にアクセスします。
- ② 次のトップページが表示されます。

マイクロソフトアカウントでログインしていれば、すぐに使うことができます。



4 Microsoft Designer の画面構成

トップ画面の左サイドに3つのメニューが表示されています。



- ① Microsoft Designer ① → トップ画面が表示されます。
- ② AIで作成 ② → AIで作成の画面になります。

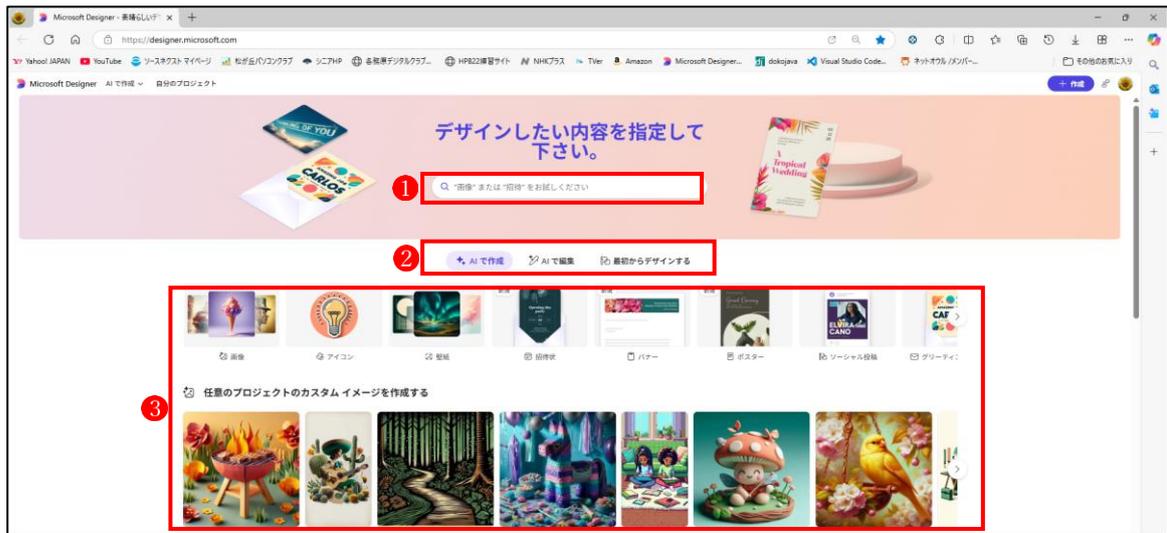


- ③ 自分のプロジェクト ③ → 自分のプロジェクトの画面が表示されます。



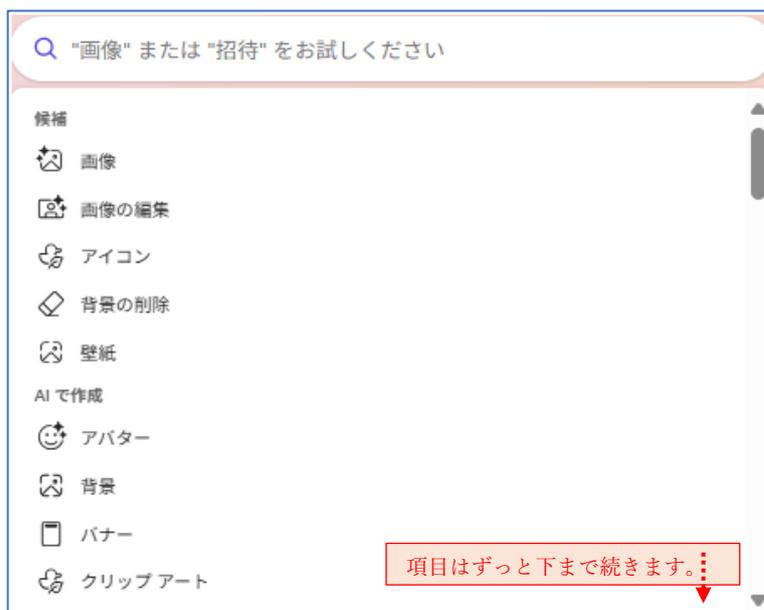
5 画像の作成、編集の使い方

トップ画面から画像の作成、編集作業に入ります。



(1) 検索窓から始める

使いたい機能をダイレクトに選択したい場合は、上の画面で検索窓①をクリックします。
→次の選択肢が表示されるので、自分が使いたい機能を選択して始めます。



(2) 機能別に始める

AI機能②を次の選択肢から選びます。



① AIで作成



② AI で編集

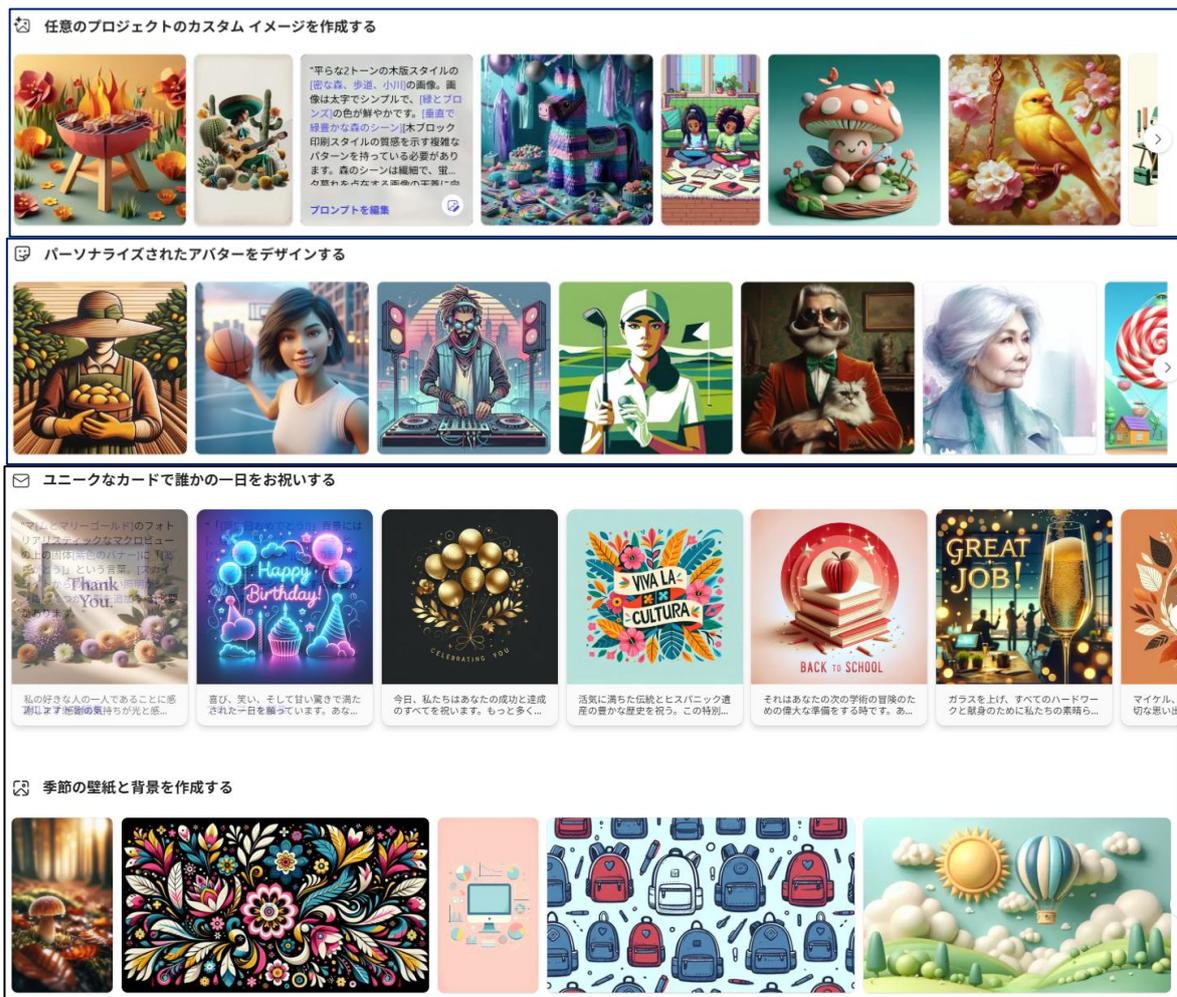
AI で編集



③ 最初からデザインする



(3) あらかじめ分類別に用意されている候補デザイン③から始める



この下にも、季節の壁紙と背景を作成する、ユニークな塗り絵を作るの候補が表示されています。

6 AIで画像を作成する

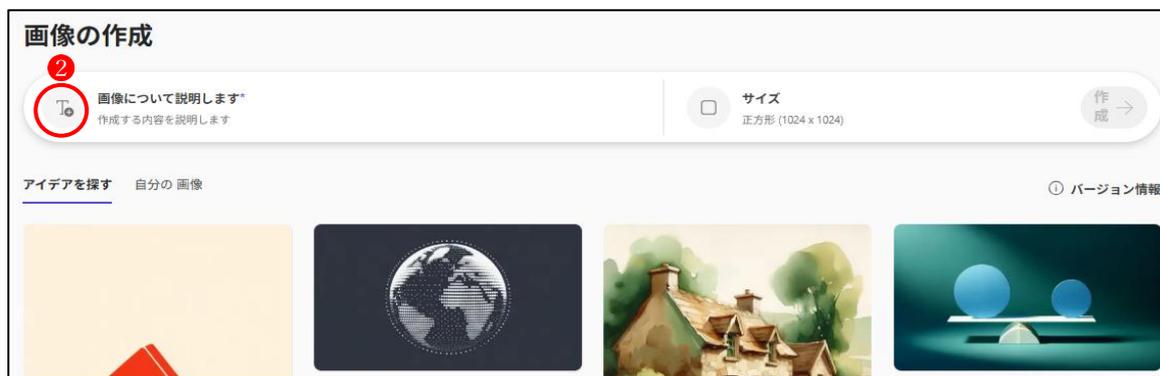
まずは「AIで作成」を使って画像を作成してみましょう。

(1) 「画像」を作成する

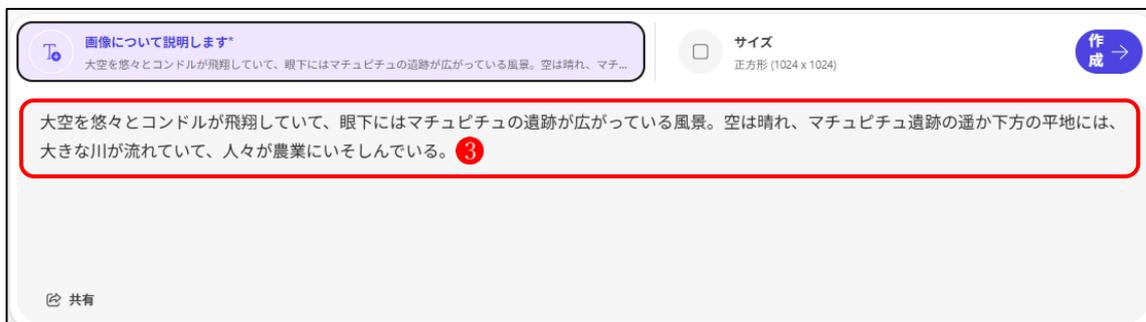
① 「画像」①を選択します。



② 「画像の作成」画面になります。



「画像について説明します」の「T」②と表示されているところをクリックすると、テキストを入力するエリアが表示されるので、そこに自分の作成したい画像のイメージを入力します。ここでは③のように入力してみました。



次にサイズ④をクリックして、3種類のサイズの中から作成する画像のサイズを選択します。ここでは「正方形 (1024×1024)」⑤を選択しました。



最後に「作成」ボタン⑥をクリックします。

少しの時間、AIが画像を生成している状態が表示されます。



AIが生成した画像が「自分の作品」⑦として4枚⑧表示されます。



(2) 「バナー」を作成する

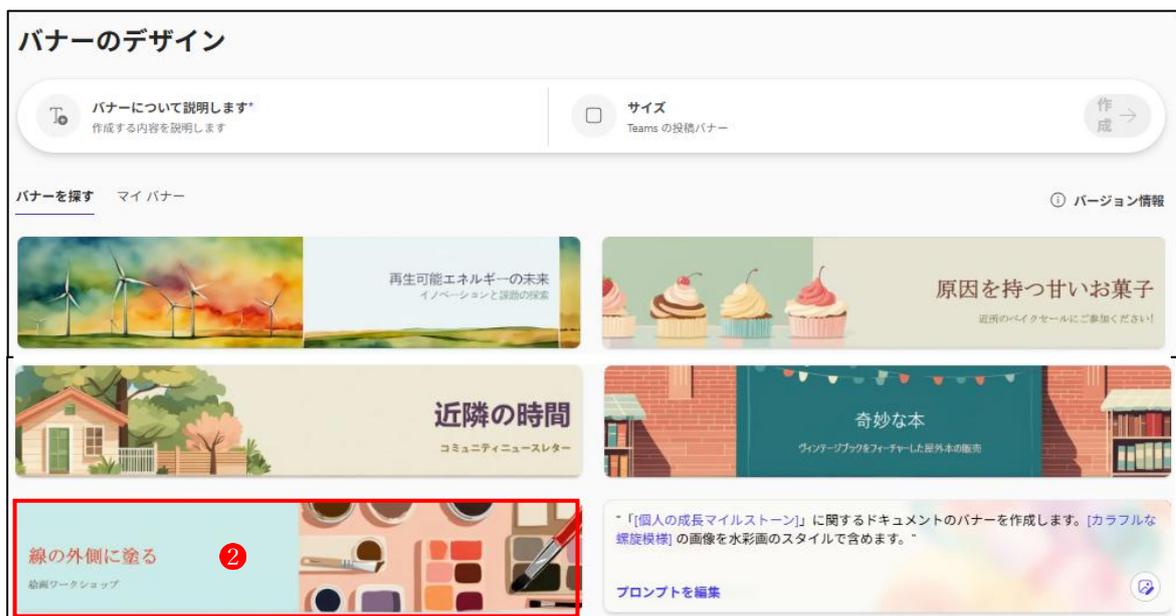
次にバナーを作成してみましょう。

① 「バナー」①をクリックします。



② 「バナーのデザイン」の画面になります。

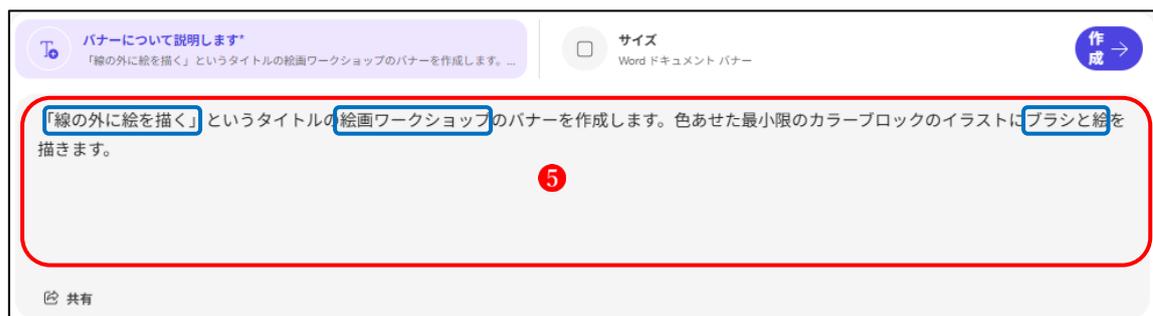
ここでは、候補の中から「線の外側に塗る」②を選択します。



- ③ 選択した画像②をクリックすると、「バナーについて説明します」という画面になり、その画像生成の元となっているプロンプト（言葉の説明）が、「キーワードの入力欄」が付いている状態③で表示されます。



- ④ 上図で「プロンプト全体を編集する」④をクリックすると、上図で「キーワードの入力欄」になっていた部分が消えて、プロンプト全体を書き直せるようになります⑤。



- ⑤ 表示されているプロンプトを書き換えます。
ここでは、次のように書き換えてみましょう。

(例)・「線の外に絵を描く」→「さくらパソコンクラブ」
・「絵画ワークショップ」→「パソコンクラブ」
・「ブラシと絵」→「ノートパソコンと桜の花のイラスト」

- ⑥ サイズの部分⑥をクリックすると、2種類のサイズが表示されるのでどちらかを選択します。ここでは「Teamsの投稿」⑦を選択します。



プロンプトの書き換えとサイズの実行が済んだら、「作成」ボタン⑧をクリックします。

- ⑦ 「生成」ボタンをクリックすると、しばらく AI が画像を生成している状態が表示されます。



- ⑧ AI が生成した画像が「マイバナー」⑨として4枚⑩表示されました。



- ⑨ 作成された画像は編集したりダウンロードすることができます。
上図で好みの画像をクリックすると、次の画面が表示されます。



- 「編集」⑪をクリックすると、編集画面に切り替わります。



ここでは、テキストの編集のほか、画像の追加など様々な編集作業を行うことができます。
編集の詳細については、別の教材で説明することとします。

- ⑩ 「ダウンロード」¹²をクリックすると次の画面になり、直接または編集を行った後にダウンロードすることができます。



保存する画像の種類¹³は、PNG と JPEG のどちらでも選択できます。